

はじめに、診療看護師(NP)の活動にご協力を頂いております、みなさまに心より感謝を申し上げます。

本学術集会は、診療看護師 (NP) の実践・教育・研究活動を通し、人々の生活と健康に寄与すること目的に開催しており、2023年度から、会員数の増加に伴い中部地方会として活動に至り、本年度で第3回学術集会の開催の運びとなりました。中部地方会を代表して大会長を務めさせて頂くこと、大変光栄に存じます。

第3回学術集会のテーマは「診療看護師 (NP) による変革」副題を～NPがもたらす費用対効果～としました。私たちNPは看護師として、患者さまとその家族・関係者に寄り添いサポートを提供しながら、効率的・効果的に診断と治療を実行する能力を併せもっています。NPが持つ医学の視点と看護の視点を結び付けた実践は、高齢化社会と、医師不足が進むなかで必要不可欠で、今後さらに需要が高まると考えています。NPがタスクシフティングを引き受けることで、医師不足の解消、医療アクセスの向上、患者満足度の向上など、様々な面で診療生産性に影響を与え貢献しています。これらNPの活躍を明確に示すことが、社会から存在意義を認められることにつながると考えています。

初心に戻り、何のために医療を提供するのか、さらにはNPをどのように活用することが望ましいのか、しっかりと考えていきたいと思っております。

本年度は、直線距離で東西が155km、南北に118kmと広大で、富士山を見ることのできる静岡県での開催となりました。現地開催とZOOMとのハイブリット開催といたしました。みなさまには観光もあわせてぜひ三島市まで足を運んでいただければと考えております。「交流」も楽しみに、現在準備進行中です。

末筆ではありますが、本学術集会開催にご協力いただいております関係者の皆様に心より感謝を申し上げますとともに、今後も変わらぬご指導、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

会員、非会員、学生の皆様が多数参加していただけることを期待し、皆様と会場でお会いできることを楽しみに、お待ちしております。

2025年9月吉日

国立病院機構 静岡医療センター  
診療部 診療看護師 松山 伴子